

八幡神社付近の 駐車対策について



栗原 信司
議員

違法駐車は、交通渋滞や交通事故の大きな原因であり、対策は急務の課題です。特に、市役所通りを内牧方面に向かい、東武野田線を越えて国道16号線までの区間は、県道久喜菰蒲線が開通してから通過車両も増加し、お正月、お花見、七五三の時期は、時間帯によっては片側通行になってしまうことも多々あります。この八幡神社付近の市道における駐車対策について伺います。

通を守るために、市としての対策をお伺いします。

○市民部長

立て看板等を設置して駐車禁止区域であることを強調するとともに、春日部警察署に対し取り締まりの強化を要望してまいります。

○都市整備部長

路上駐車は大きな課題であり、関係部署と協議し、対策を検討してまいります。

このほか

○もらい火対策について

○住居表示について

○ボランティア活動支援について

合併による交流人口の 拡大について



白土 幸仁
議員

少子高齢化が引き起こす人口減少により、定住人口だけでなく、交流人口をふやすことによって、地域の活力を高めていこうという自治体が増加しています。

地域間競争を勝ち抜くべく、いち早く効果的に交流人口を増加させるためには、独自に

基準を設けて交流人口の目標値を設定し、それを毎年評価し、翌年につなげていくことが最も能率的に交流人口を増加させると考えますがいかがでしょうか。

また、新春日部市の魅力をつくるため、特に交流人口の増加を図るために、今後考える施策はあるのでしょうか。

○総合政策部長

現在策定中の総合振興計画では、行政評価制度と連動した計画とするため、すべての施策について成果指標や数値目標の設定を行います。これにより、交流人口の拡大にかかわりのある各分野の施策において客観的な評価を行い、実効性のある計画とします。目標値を意識しながら達成に向け創意工夫を凝らすことで、交流人口の増加や将来的な定住人口の増加につなげていくよう努めてまいります。

また、交流人口の増加を図る施策としては、鉄道高架事業の促進や周辺まちづくり事業の早期実現、庄和インター周辺の産業集積の推進、観光イベントの充実など、ソフト、ハード両面で創意工夫に努め、新たなまちづくりの創出に取り組んでまいります。

資源ごみの持ち去り 禁止の条例化について



新部 裕介
議員

全国的に古紙やアルミ缶などの資源物の不正回収が問題になっております。当市でも、不正業者と市民間のトラブルが相次ぎ、市指定の委託業者が回収に回ると、ほとんどが持ち去られております。

県内7市では持ち去りを禁止する条例を定め、うち草加市など3市が罰則規定を設けております。草加市では条例改正と職員の積極的なパトロールにより改正前に比べ約2倍回収量が増加しております。当市においても市民と行政が責任を持ってリサイクルを推進し、その収益は市の貴重な財源となっているのですから、持ち去り禁止の条例化が必要と考えます。市の今後の方針をお聞かせ下さい。

○環境経済部長

当市でも古紙の持ち去り行為が増加しています。資源物の売却収入は市の大切な財源であることから、持ち去り行

為防止のため、職員による監視パトロールを適時実施し、注意、指導を行っています。

また、集積所や古紙の束に持ち去り禁止の文書を張るなどして対策を講じています。

条例については、弁護士などと相談しながら罰則規定を設けた形で検討中です。今後、関係機関と協議してまいります。

このほか

○市長、教育長の公用車をエコカーに

○市道藤塚米島線の整備計画に「南北通行トンネル」の導入を



ごみステーション

消防・防災活動について



鬼丸 裕史
議員

現在、当市ではマンション建設ラッシュとなっており、特に春日部駅周辺はララガーデンの開店や鉄道高架化計画により、今後ますますマンション建設が進むと思われます。そこで、マンション火災に対応するため、現在のはしご車の配置状況を伺います。

次に、救急車の適正利用について、最近、よくテレビ報道で特集が組まれ、放映されています。また、「広報かすかべ」にも適正利用に対する協力依頼の記事が掲載されていました。適正利用を促進するために、「介護タクシー」と呼ばれる、民間による患者等の搬送事業が有効と考えますが、当市の状況を伺います。

最後に、AEDについて、私は今年の3月に普通救命講習を受講し、AEDの必要性を痛感しました。そこで、市内のAEDの設置状況と救命講習の開催状況を伺います。

○消防長

はしご車は、直進式38メートル級及び屈折式15メートル級の2台保有しています。

民間による患者搬送事業については、平成17年10月に要綱を定めましたが、現在まで認定申請はありません。

AEDは、市役所、庄和総合支所を初め、市立小中学校、一部の医療機関等、市内83カ所に設置されています。また、救命講習会は、平成18年中に上級救命講習会を4回実施し、80人が受講、普通救命講習会を67回実施し、1566人が受講しました。



市民の利用しやすい 公共施設とは



阿部真理子
議員

公共施設の有料化が決まりました。これからのまちづくりは、市民参加、参画が重要です。ボランティア、NPO等、行政と共に働く団体には、活動の支援策として減免が必要と考えますがいかがですか。

また、体育施設等への指定管理者制度の導入により、市民サービスの低下が懸念されますが、メリットは何ですか。今後の利用にあたり、苦情、要望、また、施設の安全等への対応方法をお尋ねします。

○社会教育部長

公共施設の有料化は、利用する人と、しない人との負担の公平性の観点から使用料をいただくものです。このため、受益者負担の原則のもと、減免を例外的措置とし、その適用は必要最小限の範囲としています。なお、市との共催事業は免除する制度もあります。

次に、指定管理者制度導入によるメリットは、経費の約

10%縮減が期待され、市民サービスの低下はなく、民間活力による新たなメリットがある

と期待しています。体育施設の補修等は、安全第一に行っています。制度導入後は、修繕費用が1件当たり百万円を超えるものは市が負担し、それ以外は管理者が対応します。市民からの苦情、要望には、管理者並びに教育委員会で対応したいと考えています。

このほか

○介護予防事業のこれまでの成果と今後の課題

○（仮称）庄和図書館の開館に向けた進捗状況

銚子口橋架橋について



阿部 喜一
議員

平成11年6月定例会の一般質問で銚子口橋の架橋は、同じ行政区の中で、しかも同一の河川に複数の架橋は予算面から見てもできないということが分かりました。その後、2回ほど関連して一般質問を行いました。ゆりのき橋が完成した暁には、再開する約

束になっています。

そこで、お尋ねしますが、平成14年に市町村道路改良事業の補助事業として採択していただくように越谷市と同時に要望することで、未定であったこの件は現在どのように進んでいるのでしょうか。

また、春日部市側も越谷市側も取りつけ道路の用地買収は、ほぼ完了していると思われますが、事業化の見通しはどうか伺います。

○建設部長

事業費確保を最優先に、県と協議を重ねてまいりました。とりわけ、国庫補助金の導入は、地方道路整備臨時交付金の採択を考えていましたが、この制度は平成15年度から平成19年度までの限定補助となつています。現時点では、継続されるかは不透明ですが、県との協議では、地域連携推進事業の補助制度が採択基準に合致している可能性があるとの回答を得ています。

今後も越谷市と連携を図り、有利な国庫補助金の導入に向けて、県と協議を重ね、早期整備に努力してまいります。

このほか

○その後の図書館構想
○テニスコートについて

温暖化対策、車自粛と 自転車利用について



山口 健児
議員

地球温暖化については、サミットでも取り上げられ、ますます懸念されています。最近では、どこへ行っても車、車の渋滞で、自動車の排気ガスが充満しています。静かな社会の実現が各界から提唱され、都市の過密化への対応、省エネルギー対策、健康的日常生活、環境へのやさしさが求められています。そこで、当市では、今後どのような温暖化対策を行っていくのか伺います。

また、環境へのやさしさや自分自身の健康管理のためにも、近距離交通手段については、自動車の利用を自粛し、自転車利用を奨励すべきだと思いますが、自転車利用のシステム作りについて、どのように進めていくのか伺います。

●環境経済部長

温暖化対策は、環境基本条例の基本理念の実現に向け、今年度中に、具体的な取り組み

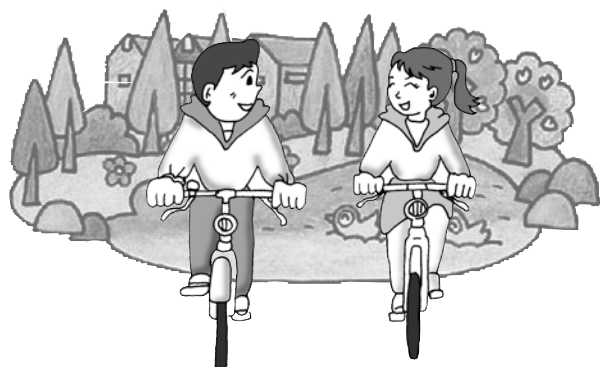
みを定める環境基本計画を策定し、市民、事業者、市が一体となり推進してまいります。

自転車利用の促進については、環境基本計画に行動指針を定める予定であり、策定後は市民への啓発を推進します。

このほか

○南中曽根、市道2―30号線見晴屋前交差点信号機設置について
○下蛭田、病院前押ボタン信号の設置について
○市道2―11号線歩道整備について

○都市計画道路「上野長宮線」の計画について



後期高齢者 医療制度に対策を



村松 君子
議員

来年4月から、75歳以上の高齢者はすべて後期高齢者医療制度に組み込まれます。今まで社会保険の被扶養者で保険料負担のなかった人も、新たに保険料を支払わなくてはなりません。

保険料を滞納すれば、短期保険証の発行や保険証を取り上げられてしまうなど、医療から外されることになってしまいます。保険料は月額平均6200円と、大変高額です。今でさえ高齢者は、高齢者控除の廃止や住民税非課税措置の廃止、定率減税の全廃などによって、住民税や介護保険料などの大幅値上げで大変な状況です。

後期高齢者医療制度で、新たな保険料の徴収は、高齢者を苦しめ、所得の格差が命の格差に直結することになってしまいます。

医療の内容も高齢者に劣悪化されるおそれもあります。

高齢者から医療が取り上げられることのないよう、現場で高齢者と向き合う市が「資格証の発行はしない」など、対策を立てるべきです。

●福祉部長

資格証の発行は、広域連合（県）の権限であり、支払い能力のある人に発行され、適正な運用が図られるものと認識しています。

●市長

広域連合には必要に応じて要望してまいります。

このほか

○障がい者が安心して暮らせるまちに

放課後児童 クラブの充実を



卯月 武彦
議員

放課後児童クラブは、福祉公社が指定管理者として管理運営を行っています。その結果、市の責任がいまいにな

っていると思います。指定管理者制度をやめ、市の直営とすべきだと思いますが、市長の見解をお聞きます。市民営の時には行われていた

行事を復活させるなど、保育内容を充実させるべきではないでしょうか。

指導員の給与は大変安く、労働基準法で定められている休憩もきちんと取れていません。有能な指導員確保のためにも、待遇の改善が必要ではないでしょうか。

定員を超えているために4年生以上の入室が認められていないクラブがあります。条例を改正して6年生まですべて入室させるべきだと思いますが、市長のお考えをお聞きます。緊急に夏休みの間だけでも入室できないでしょうか。

●福祉部長

保育内容については、十分に協議します。指導員の給与については、労使の交渉の結果と受けとめています。休憩は、ローテーションでとることについては、可能な限り対応したいと考えています。

●市長

直営にする考えはありません。対象年齢の拡大は考えていません。

このほか

○シルバー人材センターについて

ペットボトル症候群への 注意の呼び掛けについて



大山 利夫
議員

糖尿病等の原因となるペットボトル症候群への注意の呼び掛けについて伺いました。健康な人でも清涼飲料水の飲み過ぎが高血糖を招いたり、糖尿病性昏睡で意識障害を引き起こす原因ともなります。これから夏に清涼飲料水を飲む機会が多くなるため、広報かすかべやホームページで広く市民に周知し、飲み過ぎないように注意を呼び掛ける必要があると思いますが、市の考えをお聞かせください。

健康保険部長

当市における取り組みとして、乳幼児健診等において、清涼飲料水ではなく、お茶や水で水分補給をするように指導を行っています。これから夏場に向けて、水分を摂取する機会が多くなることから、広報かすかべ7月号やホームページに掲載し、また、各種事業において、清涼飲料水に含まれる糖分の量や飲み

過ぎによる健康被害について注意を喚起してまいります。このほか

○「いじめや虐待のない都市宣言」と「早寝早起き朝ごはん都市宣言」について

○「地球温暖化対策条例」の制定を再度提案することについて

○「地販地消推進条例」の制定について

○トライアル発注制度の導入について

○ゼロ予算事業の推進について

○豊野工業団地や企業内の保育所設置について

鉄道高架について



渋田 智秀
議員

平成17年度国の予算に調査費が付きましたが、その後の事業計画は、副市長は春日部市赴任前は、姫路市で鉄道高架事業に着手していたようですが、その内容は、また、近隣では東武日光線栃木駅の鉄道高架が、春日部駅高架と似ていると思われるが、鉄道

事業者と国・県・市の負担割合は、伊勢崎線・野田線の高架順は、私は、北越谷・春日部間も将来的には鉄道高架にするべきだと考えますが、市長の考え方を伺います。

鉄道高架担当部長

栃木駅の負担割合は鉄道事業者負担分を除き、国が5割で残りは県・市が2対1です。総事業費は約340億円です。春日部駅の鉄道高架事業は、総事業費約680億円です。伊勢崎線・野田線の高架順も含め、複線方式・仮線方式によって決まっております。

副市長

私はかつてJR東日本におりました。また栃木駅の鉄道高架事業にも着手しました。姫路市では、姫路駅の鉄道高架事業などに着手しました。鉄道高架によるレールの付け替えには2日半を要しました。

市長

春日部駅高架を見ながら検討していきたい。

このほか

○庄和図書館について

○市民が集うイベントについて

○内容交差点信号について
○ウイングハットバスについて

粕壁三丁目A街区 市街地再開発事業について



岩谷 一弘
議員

次のことについて伺います。
①工事発注契約方法について
②解体工事の現況（特にアスベスト対策）について
③近隣住民対策と道路交通への影響について

④（仮称）第9保育所への指定管理者導入について

⑤複合施設としての効果的運用について

鉄道高架担当部長

市の業者登録、経営事項審査、高層の完成工事高などにより、組合の理事会が指名競争入札によって行い、大林組が落札しました。今回は、解体及び建物の建築工事一式で、道路改良工事は、別途発注となります。解体工事はほぼ終了し、5棟に使用があったアスベスト材は、手作業で袋詰めにし、産廃として適正に処理されました。道路交通への影響については、誘導員の配置で、歩行者の安全を確保し、交通渋滞を引き起こさな

いよう努めています。また、電波受信障害は、適切な処置を講じる予定と聞いています。

福祉部長

施設の指定管理者については、現在福祉部内で導入について検討しているところです。運営面、施設面、経費面からメリットが考えられ、各施設がそれぞれの特性を生かしつつ、相互に連携を図ることによって、単独の施設でなし得ない多くの相乗効果を生み出すことができると考えています。

このほか

○小中学校の予算配当と不用額の評価について



粕壁三丁目A街区市街地再開発事業（完成予定図）